

- 一、小児推拿の治療原則・特徴・注意事項
- 二、小児推拿の腧穴と手技
- 三、小児風邪発熱症の改善における推拿療法の応用
- 四、推拿練功の紹介——「霸王举鼎」

一、小児推拿の治療原則・特徴・注意事項

（一）治療原則

1. 弁証論治を行う
2. 標本主従に区別する
3. 時地人に合わせる
4. 補瀉施術を重視する

（二）特徴

1. 対応迅速
2. 施療便利
3. 治療でも予防でも応用できる
4. 安全

（三）注意事項

1. 治療室の温度を適宜に、光線を明るいに
2. 診療の態度は温和、親切に
3. 施術者の手の清潔、指爪の長さに注意
4. 患児に落ち着かせるように
5. 施術は丁寧に、施療時間が長くしないよう
6. 中病即止、過度治療しないよう

二、小児推拿の腧穴と手技

（一）腧穴

1. 小児推拿の腧穴の特徴

- ①小児推拿の特定穴を多用します。
- ②点の腧穴以外に「線・面」の腧穴もあります。
- ③上肢部の腧穴を主に応用します。

2. 小児推拿の腧穴の内容

- ①手部
- ②上肢部
- ③顔面部
- ④後頭部・頸部
- ⑤胸腹部
- ⑥背腰部
- ⑦下肢部

(二) 手技

1. 基本手技 ①推法 ②揉法 ③按法 ④摩法
⑤掐法 ⑥捏法 ⑦運法 ⑧搗法

2. 複合手技 ①打馬過天河
②水底撈月
③運水入土 or 運土入水
④開璇璣
⑤按弦走搓摩
⑥揉臍及龜尾併擦七節骨

三、小児風邪発熱症の改善における推拿療法の応用

(一) 症状： ●発熱 ●鼻詰まり、鼻水 ●クシャミ、咳

(二) 弁証

●風寒証 発熱、悪寒、無汗、鼻詰まり、鼻水水様、クシャミ、咳、咽喉痒い、
舌淡紅 苔薄白 指紋風関浮紅 脈浮緊

●風熱証 高熱、悪風、汗出或いは無汗、鼻詰まり、鼻水濃稠、クシャミ、咳、痰色白或いは黄、
咽喉色紅腫痛、口乾き 舌紅苔薄白或いは薄黄 指紋風関浮青 脈浮数

●暑熱証 高熱無汗、鼻詰まり、鼻水、頭痛、咳、身重倦怠 胸部苦しい、悪心、食欲不振、
或いは嘔吐、下痢 舌淡紅、苔薄白或いは膩 指紋浮紫 脈数

(三) 施療原則 清熱・祛邪・扶正

(四) 小児推拿の処方と施療

頭部：開天門 揉百会 摩囟門 各200回
頸部：拿風池 推天柱・大椎 各200回

手部：推三関 退六腑 清天河水 各 500 回
清心経 清肝経 清肺経 各 200 回
揉劳宮・曲池・外関・合谷 各 500 回
胸部：擦膻中 分推胸部 各 100 回
背部：擦脊（督脈）・膀胱経 各 100 回

●施療時の体勢 ①施術者の体勢 坐勢
②患児の体勢 臥勢 / 坐勢

●施療部位の順序 上肢部（手）⇒ 顔面頭部 ⇒ 胸腹部 ⇒ 腰背部

四、推拿練功の紹介——「霸王拳鼎（は おう きょ てい）」

1. 基本姿勢 立ち姿勢
2. 動作
3. 呼吸法 自然呼吸
4. 意念（イメージトレーニング） 対抗力の運用